

2025 年 8 月 4 日

「血液透析患者における栄養リスク分類別にみた大腰筋ゲージの経年変化：

単施設後ろ向きコホート研究」へご協力をお願い

研究機関名 札幌北辰病院

研究責任者 札幌北辰病院 腎臓内科・医師

高橋科那子

研究分担者 北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科

中沢 大悟

北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科

八反田 文彦

札幌北辰病院 放射線部・放射線技師

杉本 遼

札幌北辰病院 栄養管理室・管理栄養士

川原 哉絵

研究協力者 札幌北辰病院 腎臓内科・医師

山田 幹二

1. 研究の概要

1) 研究の目的

血液透析患者における栄養リスクと骨格筋量・筋質の中期的変化との関連を明らかにすることを目的とします。

2) 研究の意義

血液透析患者では骨格筋量の減少（サルコペニア）と栄養障害が高頻度にみられます。これらは身体機能の低下や QOL の悪化にとどまらず、死亡率の上昇とも関連しており、その早期評価と介入は透析医療における重要な課題です。本研究では、血液透析患者における栄養リスクスコア「NRI-JH」と骨格筋量の中長期的変化との関連を解析し、新たな評価指標の可能性を探索します。

NRI-JH は日常診療の中で簡便に評価可能なスコアであり、骨格筋量と連動することが示されれば、サルコペニアの進行リスクを早期に把握できる可能性があります。これは、検査コストや患者さんの負担を軽減しながら、サルコペニアの予防や栄養介入のタイミングを適切に判断する上で極めて有用と考えます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者 2019 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに当院で血液透析を実施した 18 歳以上の患者

2) 研究期間 病院長承認後～2028 年 3 月 31 日

3) 予定症例数 約 135 人

4) 研究方法

札幌北辰病院で取得した既存情報のみを用いる観察研究です。研究責任者が診療情報をもとに背景・透析年数・転帰・栄養状態などのデータを選びます。年に 1 回実施された CT 画像を用いて大腰筋を計測し、栄養状態との関連性を調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、札幌北辰病院の電子カルテおよび医用情報機器の情報です。分析する際には、氏名、生年月日など、あなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。観察項目は、患者さんの背景（年齢、性別、原疾患等）、血期検査データ、CT 画像データ、転帰です。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後から 3 年間、札幌北辰病院内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施設可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は倫理審査委員会にて承認を得ます。

7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は以下の責任者が管理します。

札幌北辰病院 腎臓内科 医師 高橋 科那子

8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからなくして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

9) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2025 年 10 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続きをしますので、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただいた時点が上記のお問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承ください。

<問い合わせ・連絡先>

JCHO 札幌北辰病院 腎臓内科

氏名：高橋 科那子

電話：011-893-3000（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

メールアドレス：takahashi-kanako@hokushin.jcho.go.jp